アントレプレナー教育に向けた導入取組事例

○林 里織(山口大学 大学研究推進機構)

1. はじめに

山口大学では、課題解決力を備えたイノベーション人材の育成を行っており、平成28年度下期に、アイデアを創造する実践教育の場として、「志」イノベーション道場を常盤キャンパスに開設・整備した。「志」イノベーション道場とは、学生と優れた起業家・支援者・産業人との接点・ネットワークを提供し、アイデアを創造する実践・共創を誘発する場、起業家マインドを持つ人材育成・教育を推進する場所である。道場は、サロン(異分野・産業界との交流機能)・スタジオ(起業活動支援機能)・スクール(基礎教育機能)の3機能を有する。本稿では、この、「志」イノベーション道場において実施している、アントレプレナー教育に向けた取組事例について報告する。

2. 取組事例

起業家らによるセミナー、外部講師によるアントレプレナーシップセミナー・ワークショップ、先端研究者らとの研究交流サロン、外部機関への協力による新事業創造プログラム、部局主導のものづくり教育・語学教育、などの各種取組を実施してきた。これらの事例をもとに、具体的な内容とそれに対する参加者の傾向・変化等について報告する。

3. 今後

大学研究推進機構が中心となって企画・運営することで、日常の大学生活では接点を持つ機会の少ない、起業家・支援者・産業人をはじめとする、異分野・産業界との交流の機会を、研究者のみならず学生に対しても提供できている。一般的に、正課科目との連動がない、単位等に直接結びつかない、休日、といった取組に対しては、消極的な学生が多いことは知られているが、アントレプレナー教育という自発的・能動的な行動を期待する取組においても例外ではない。アントレプレナーシップの醸成が進むまでは、特に各部局の理解・協力を得ることが重要である。一方で、一連の活動を通して、学生・産業界ともに、実際の参加者からは「同様・類似の取組を継続して欲しい」、「このような実質的な異分野交流の機会を増や

しの一及見イ道たべ育築得更りて新がの正れべを地シシ係たるいら有影「シブのンテ端,化いら育影「シブのンテ端,化」れ効響志ョとイ人ム緒今をと,果が」ンしノ材構を後図





=== === === メモ欄 === === === ===